釧路あすなろクラブ会報

2016 年 10 月号

平成 28 年度年間テーマ　『不易流行』～よく学びよく遊び～

■ 平成 28 年 10 月　例会報告　【執行部担当例会】

題　　目　　『ばんば DE！一攫千金！！』
開催日時　　平成 28 年 10 月 15 日（土曜日）・16 日（日曜日）
開催場所　　帯広競馬場・十勝幕別温泉グランビリオ
出 席 者　　第一部会　３名　　第二部会　６名　　第三部会　５名　　第四部会　２名
　　　　　　合計出席者数　１６名（全４６名）　　出席率　34,78%

■例会内容■

例会当日は、天候も秋晴れに恵まれ研修先である帯広競馬場へ高速道路を利用し移動致しました。研修先の帯広競馬場も週末とあって大勢の方々が愉しんでおりました。到着後、馬券購入方法ビギナーズ講習を受け、その後研修のメインであります「バックヤードツアー」にて、普段見る事のない厩舎や関係者居住区域など専用マイクロバスにて見学をし、実況席横のスペースから帯広競馬場を見下ろしながら観戦を致しました。大変有意義に帯広競馬場の理解を深めることが出来ましたが、もうひとつの愉しみであります馬券購入の成果は惨敗で、宮澤会員のみ多少のお返しがございました。その後、宿泊先であります幕別温泉グランビリオに移動し大宴会を行い、ゲームではリベンジの為競馬ゲームやロシアンルーレットゲーム、逆ビンゴ大会などを行い会員相互の親睦を深めることが出来ました。ホテル内にて 2 次会も開催し、男ばかりのカラオケ大会で大いに！？盛り上がることが出来ました。翌日は、期待以上の豪華な朝食に驚きながら、予定通り帰釧致しました。

①　到着後説明　　　②ビギナーズセミナー　　　③実況席横より観戦　④出走前待機場所

⑤懇親会「会長挨拶」　　②歓談　　　③男ばかりの 2 次会　　④集合写真

■事務局連絡■

宮崎選考委員長より、次期第 55 期会長予定者に小野寺英夫会員に決定した旨、報告がございました。

■部会活動報告■

第一部会　　なし　　　　第二部会　　なし
第三部会　　なし　　　　第四部会　　なし

■事務局連絡■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

1．やむなく例会欠席予定を変更される方は部会長か事務局長への連絡をお願いします。

2．**円滑な会の活動を進めるために、年会費の早期納入をお願いします。**

3．ホームページでは、カラーの会報、写真、過去の記念誌、会報などがご覧いただけます。
　　どうぞご利用ください。アドレスは　URL http://www.marukoo.com/as/

釧路あすなろクラブ
１１月例会のご案内

10 月例会（執行部担当）では、「ばんばDE！一攫千金！！」と題し、帯広競馬場にて研修を行い、十勝幕別温泉グランビリオにて宿泊・宴会を行い、会員の親睦の深まる例会となりました。

11 月例会におきましては、執行部担当例会で、「あすなろクラブとは何ぞや！グループ対話例会」と題し、クラブの活動、本質に対して理解と知識を深め、各会員の皆様が今後クラブ活動に生かして頂く例会内容にて開催致します。

■例会内容■　　執行部担当例会

「あすなろクラブとは何ぞや！」

～グループ対話例会～

１、**対話例会課題(15 項目)を**添付致しますので必ず事前にご覧下さい。

２、**会員手帳**を必ずお持ち下さい。

３、**本例会は結論を出す目的ではなく**、クラブの活動、本質に対して理解と知識を深め、今後の活動に生かしていただく例会と考えております。

■開催場所■　　釧路センチュリーキャッスルホテル

■日　　時■　　平成 28 年１１月１０日（木曜日）

食　事　午後６時～

例　会　午後 6 時 30 分～

■出欠連絡■　　締め切り　　１１月１日（火）　必着

★出欠・食事の有無に〇を付け、各部会長さんへＦＡＸお願いいたします。

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１１月例会　　出席　・　欠席

食　事　　有　・　無

■ 各部会長のＦＡＸ番号■

一部会	大槻杉憲	32-0287	二部会	冨山　聡	38-3488
三部会	及川雅順	36-5673	四部会	東　陽一	57-7768

■やむなく例会出欠予定を変更される方は部会長か事務局長へ連絡をお願い致します。

■会員名簿に誤りがございましたら、部会長か事務局長へ連絡をお願い致します。

釧路あすなろクラブ事務局　事務局長　猪俣　利之（㈲イノマタ通信）

〒085-0058　釧路市愛国東 1-20-2　℡090-1640-2139　Fax0154-35-7156

E-mail　ino-617@khaki.plala.or.jp

釧路あすなろクラブ　１１月対話例会課題

昭和 37 年 2 月 18 日創立　会員 19 名

① 本会は経済研修を旨とし、会員間の意見・情報交換、ならびに郷土の知識を深め、社会への貢献と会員相互の交流親睦を図ることを目的とする。（会則第３条－目的）
(クラブ創世記は景気も下降線をたどり企業間のシェア争い、販売競争など、毎日毎日神経をすり減らしていた時に、営業マンのグループとしてお互いに商売の情報を交換し、研修会、そしてクラブの仲間を心のよりどころとして活動しました。初代会長 手林俊夫 １０周年記念誌より)

② 「研修」とは○○○○である。

③ 各会員の会社は数名から数十名の組織でありますので「異業種団体」という異なった価値観の中で「研修」することが求められる。

④ 「研修」の一つの方法として「常に各会員が意見を出し合い最終合意まで到達する訓練が要求される。」
(同じ意見よりも異なる意見をくみ上げる事により会員の資質が向上される。種々の考え方に気付く)

⑤ 年会費は「経費」ではなく「投資」ととらえるべきで、年会費納入は会員の義務です。

⑥ 経済研修団体として強い組織にするためには、新人からベテランになる過程で経験を積むことが必要である。　(会員は各部会の中で研鑽を積み、副部会長から部会長など各部会で勉強してから執行部に入るのが望ましいが、執行部に入る条件とするべきか？)

⑦ 役員会構成は会長、副会長、事務局長、事務局次長、各部会長による。

⑧ 執行部構成は会長、副会長、事務局長、事務局次長による。

⑨ 部会構成については発足当初は無く、７年目から生産部門、卸部門、小売部門として部会が始まる。

⑩ 将来的に部会、部会例会の必要性はあるのでしょうか。
(第 18 代(H3 年)伊東会長年度より部会担当例会が始まりました。)
(現在クラブ運営の中心が例会にあるのか部会にあるのか役員会にあるのか考えられる面が出ております。第２代事務局長 最上勇 １０周年記念誌より)

⑪ 会員の活動は「自分の会社第一」であり、クラブ活動に欠席の場合は他の会員がサポートする。
その場合、例会、部会に於いて欠席などにより内容を理解しないままの発言など「社会的常識」に反することなきよう「自己研さん」に努めることとする。

⑫ クラブの方向性は時代と共に変化するが「価値観の多様性」を受け入れながら「変えていいもの」「変えてはいけないもの」を念頭に置きながらクラブ活動に参加すべきである。

⑬ 会員はいずれ会長になるので、その時の為に仲間づくりや方針などを常々準備しておくことが望まれる。

⑭ クラブ発足時の目的から「宗教と政治」にはクラブとしては積極的には関わらなかったと言う経緯があります。
現在は選挙活動とは一定の距離を置きながら、会員として相応の協力をいただいています。
(営業上、多種多様の顧客に対応する為の、自己防衛の一環かと推測されます)

⑮ 釧路市内にも沢山の異業種団体があるが「釧路あすなろクラブ」は上部組織、下部組織を持たない、他に類を見ない独自の活動を行ってきた団体である。
(会費、活動内容などに会員が理解を深める事が重要)

『 第３１代会長 平野幹雄氏了解の元、個人私見を参考とさせて戴きました 』